

令和7年度事業報告書概要（東京港野鳥公園）

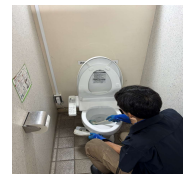
指定管理者：東京港野鳥公園グループ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

・建物管理

トイレの重点清掃(壁面、照明器具を含む内部全て)、カーペット清掃を大幅に増加して実施しました。アンケート結果では、「トイレやベンチ等の施設の管理状況」4点満点中3.7点を獲得。トイレに関する苦情件数は0件でした。



(便所清掃)

・開園前のウェルカム清掃の徹底

また来たいと思っていただけるように開園前の管理事務所周りの清掃(落葉清掃等)、テーブル・ベンチ拭き等を地道に着実に実施しました。入園待ちの利用者からお褒めの言葉をよくいただきます。

令和7年度は雨上がりの開園前にすべての濡れたベンチを拭き開園後ご利用いただける環境にしました。



(ベンチ拭き清掃)

・樹木剪定（危険木等改善）

剪定等樹木管理を年間計画以上に増加し実施しました。今年度は予防保全として台風シーズン前に園内全域で危険木などの調査を行い、伐採・剪定を実施しました。この対応により一年間樹木による事故は発生しませんでした。



(伐採作業前)



(伐採作業後)

○ 安全性の確保

・防災訓練の実施

当社の「大規模地震発生時初動対応マニュアル」を活用し、公園スタッフ及びボランティア2団体と一丸となって、お客様等の安否確認・情報伝達訓練（多言語）・公園施設の状況確認・一時避難場所への誘導・仮設トイレ・発電機の稼働の確認を全員で実施しました。

新たに一時滞在施設の大田市場への誘導訓練を実施しました。



(本社と連携情報伝達訓練)



(多言語プラカード情報伝達訓練)



(一時滞在施設の大田市場へ移動)

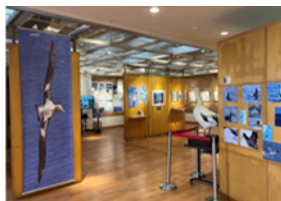
2 事業効果

○ 事業の取組

・世界アルバトロスデー&シーバードウィークの取組

アホウドリ(アルバトロス)類を含む海鳥類の多くが絶滅の危機に瀕していること、保全活動の重要性を普及するために講演会と展示を行いました。海鳥類の現状や保全の取り組みの解説、動画の上映、写真やアート作品を展示し、令和7年6月15日から7月6日までの開催期間中、約700人の来場がありました。

講演会では、現地だけでなくオンラインでも開催し、約100人が参加しました。



(展示会場)



(講演会の様子)



(解説の様子)

・企画展示「お菓子になった鳥展」を開催

野鳥をモチーフにアイシングクッキーを制作する「鳥類菓子図録」さんによる作品展を開催しました。園内で見られる野鳥をテーマに展示を行い、精巧に作られた作品や、館内でのゲーム企画も大変好評でした。また、SNSで話題になっていた作家さんのためSNS経由の来場者が多く、企画展を目当てに初めて野鳥公園を訪れた方が多く見られました。

(来場者数 1,770人)



・野鳥愛好家へのブログ配信

レンジャースタッフが当日確認した野鳥の種類や撮影した写真を、毎日（休園日除く）ホームページ（日本語・英語）に掲載し、イベント情報や環境管理作業報告、開園時の野鳥公園の様子を紹介し、今年度はブログ閲覧数が昨年度より約44万件増とブログリピーターがクチコミなどでさらに増えた事が伺えます。

アンケートの自由意見でも多くのお客様から高評価を得ました。

○ 利用の状況

令和7年度の来園者数：49,651人

○ 行政目的の達成

・東京ポイントの事業連携

東京都主催の「東京都公式アプリ」でチケット利用できる施設に野鳥公園も参加しました。ポイントでチケットを交換できる一般と、中学生・65歳以上を対象として3月17日から東京アプリ内チケット交換対象施設として運営を開始しました。事業開始時の広報では、窓口掲示等をメインに広報を行いました。受付では利用の手順がわからないご年配の方が多くいらっしゃり、丁寧に利用についてサポートをしました。

3 収支状況（単位：千円）		
項 目		金 額（税 込）
収 入 計		143,415
内 訳	指 定 管 理 料	136,207
	利 用 料 金	7,208
支 出 計		148,882
収 支 差		-5,467

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。